

●ふれあい ふれあい ●



西茨城郡
岩瀬町

面積: 87.15km²
(平成6年10月1日現在)

人口: 23,440人
男: 11,371人
女: 12,069人
世帯数: 6,074世帯
(平成7年9月1日現在)

町の花 桜
町の木 もくせい
町の鳥 うぐいす



岩瀬町は西茨城郡の西端に位置します。北部一帯および南東部には富谷山や加波山などの美しい山々があり、水郷筑波国定公園、県立笠間自然公園に指定されています。

世阿弥の謡曲「桜川」で有名な桜川の源流は岩瀬町にあります。その舞台となった磯部桜川公園は県内屈指の桜の名所で、その種類の珍しさもあって国の天然記念物に指定されています。毎年、桜の季節には大勢の花見客でぎわいます。

町の西部にある「上野屋やすらぎの里」にはオートキャンプ場が整備され、多くの若者や家族連れの憩いの場となっています。

岩瀬町は銘影石の産地として知られており、農業とともに地場産業である石材業を中心に関発してきました。町を東西に走る国道50号沿いの遊歩道「ラブロード50・石匠のみち」には石の彫刻14個を配置しています。

町では、設置が予定されている北関東自道車道の岩瀬インターチェンジ 仮称 を起爆剤として、今後ますますの発展を目指しています。

《岩瀬町企画財政課》

課長	菊池 健一
課長補佐	井関 幸輝
主査	高松 輝利
主任幹事	河栗 通浩
主任	林 一雄



岩瀬町総合体育館ラスカにて
左:河合主任幹事、中:井関課長補佐、右:栗林主任

——課の特長は。

菊池：企画財政課では統計業務の他にも様々なイベントを担当しています。秋の町民祭はもちろんのこと、町を花で一杯にしようと「花とふれあいのふるさとづくり」を推進しています。

——職員のみなさんはいかがですか。

井関：みんな宴会が大好きで、忘年会、新年会を楽しみにしています。

——趣味は。

高松：釣り。夏はアユ、秋はハゼ、冬はウグイを狙って出掛けます。

井関、栗林：スポーツ全般。ジェットスキー、水上スキーもやっています。

——カラオケの十八番は。

井関：高山巖『悲しみよ一粒の涙も』。

高松：鈴木聖美・雅之『ロンリー・チャップリン』。

河合：さとう宗幸『青葉城恋唄』。

栗林：上田正樹『TAKAKO』。

——理想の女性をタレントに例えると。

井関：昔は三田佳子。今は飯島直子。

栗林：和久井映見。でも007のボンドガールもとても魅力的。

河合：胸の大きな西田ひかる！

【新着資料案内】

この資料は、平成7年11月中に行政情報センター・統計資料コーナーに到着した主なものです。ご利用下さい。

行政情報センター 本庁舎地下1階 TEL 029-221-8111(内線 2238・2239)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
中央省庁関係		茨城県関係	
個人企業営業状況調査報告 平成7年3月	総務庁	県政世論調査 平成7年7月実施	広報広聴課
全国物価統計調査報告 平成4年 第8巻	"	茨城の事業所	統計課
土地基本調査世帯調査報告 平成5年 " 第1巻 全国編	"	災害の記録 平成6年	消防防災課
土地基本調査世帯調査報告 平成5年 " 第2巻 (01~07)	"	事業計画概要 平成7年度	医務課
" 第2巻 (08~14)	"	茨城の園芸	園芸流通課
" 第2巻 (15~24)	"	大洗港統計年報 平成6年	大洗港湾事務所
" 第2巻 (25~30)	"	生活排水ベストプラン	下水道課
" 第2巻 (31~39)	"	県議会定例会会議録 平成7年第3回	県議会事務局
" 第2巻 (40~47)	"	都道府県関係	
土地基本調査世帯調査報告 平成5年 第3巻	"		
国民経済計算 平成2年基準改訂	経済企画庁	群馬県鉱工業指数 平成6年	群馬県
国民経済計算 平成2年基準改訂新旧対照表	"	埼玉県の輸出産業 平成6年	埼玉県
私立学校の財務状況に関する調査報告書	文部省	千葉県鉱工業指指数年報 平成6年	千葉県
国民生活基礎調査 平成6年	厚生省	工業生産統計調査結果報告 平成6年	神奈川県
伝染病統計 平成6年	"	統計データハンドブック 平成7年	新潟県
農業・農村における情報化の現状と取組事例	農林水産省	鉱工業生産統計 平成6年	石川県
林業構造動態調査報告書 平成6年	"	統計からみた岐阜県の位置 平成7年	岐阜県
調査統計部の概要 1995	通商産業省	統計でみる府民のくらし 1995	京都府
関東通産統計年報 1994	関東通商産業局	毎月勤労統計調査地方調査年報 平成6年版	兵庫県
郵政行政統計年報 平成6年度 簡易保険編 " " 為替貯金編	郵政省	市町村民所得推計結果報告 平成4年度	広島県
関東郵政局統計年報 平成6年度	関東郵政局	香川県統計年鑑 平成7年刊行	香川県
		長崎県統計年鑑 第42版 平成7年	長崎県

経済動向

国内の動き

● 税収、5年連続前年割れ

95年度の国的一般会計税収が50兆円強となり、5年連続で前年度割れする見通しとなった。景気の足踏みで法人税が振るわず、金利低下で利子所得税も大幅に減少しているため、94年度の決算額(51兆300億円)を1兆円近く下回るが、税収の5年連続の実績割れは戦後初めてのこと。これを受け政府は税収見積りを減額し、年末に95年度の第3次

補正予算案を編成するが、穴埋め策として発行する赤字国債は2兆~3兆円となる模様。

税収が減った主因は、景気回復の遅れに伴う法人所得の伸び悩み。産業界の企業業績はやや上向いているが、金融機関の不良債権償却が膨らんでいることなどから法人所得全体では増加が期待できない状態。(11月7日付 日経)

● 研究費、軒並みダウ

総務庁の発表した1994年度の企業や大学などの科学技術研究調査結果によると、53年の調査開始以来初めて企業、大学、研究機関のすべてで研究費が前年度を下回った。また、研究費総額も前年度比0.8%減の13兆5960億円で、93年度に続き2年連続の減少となっている。

けでなく、財政悪化に伴い国の予算支出も伸び悩んだ結果」と説明している。科学技術立国である我が国も大きな曲がり角に立たされているといえそうだ。

調査は企業、大学など約1万6000の機関を対象に実施。総務庁は「長引く不況で企業の研究費が切りつめられただ

けでなく、財政悪化に伴い国の予算支出も伸び悩んだ結果」と説明している。科学技術立国である我が国も大きな曲がり角に立たれているといえそうだ。

研究費の国内総生産(GDP)に対する比率も、前年度より0.04ポイント減の2.90%と3年連続で減少した。

(11月26日付 茨城)

● 金ブーム再来、輸入量が急増

金の輸入量が急増している。東京税関によると、今年1~8月の全国の輸入量は211トン、4年ぶりに前年比プラスとなった昨年1年間の輸入量をすでに上回った。最終的には年間300トンを超え、昭和天皇在位60年記念の金貨製造のため610トンに上った昭和61年に次ぐ輸入量になる可能性が高い。

内価格が下落した、(2)超低金利のため預金などから資金がシフトした、(3)阪神大震災など社会不安や金融機関の破綻などで金の安定性が見直されたなどを挙げている。

同税関は輸入が増えた原因として1.急速な円高で金の国

「金の使途は主に工業、宝飾品、投資と3通りあるが、今年は1月から4ヶ月で昨年1年分の投資用の金を売った。輸入増のほとんどが投資に回っている」と貴金属販売大手の田中貴金属工業は分析する。(11月4日付 茨城)

県内の動き

● 製品出荷額3年連続減

茨城県が発表した94年工業統計調査結果(速報)によると、同県の製造品出荷額等は93年に比べ1.2%減の10兆6988億円で3年連続で減少した。全国都道府県別順位は8位。事業所数・従業者4人以上は6.4%減の9047所で、4人以上の事業所を对象に統計を取り始めた81年以来最大の減少率だった。バブル経済崩壊の影響が依然、尾を引いているようだ。

調査は94年12月31日現在で実施。製造品出荷額に加工貢収入、修理料を加えた製造品出荷額等は減少が続いているものの、減少率は93年の3.8%から減少幅が縮小している。地域別では県央が2.8%増の156億円、県南が1.0%増の307億円。一方、鹿行・県北・県西では減少となっている。

(11月9日付 日経)

● 園芸土に変え再利用

茨城県企業局は、土浦市の県南水道事務所内に霞ヶ浦の水を飲料水にする際に出る泥を「サイクルするプラント」を建設する。現在泥は埋め立て処分しているが、園芸土として再利用することで減量化を進める。「商品化が成功すれば廃棄するより処理費用が減らせる」(企業局)という。

建設されるのは「浄水発生工資処理プラント」で12月に着工する。県内浄水施設のうち最大の同事務所で、発生する泥を焼き固め、園芸資材や芝の埋め土に変える。同プラントは平屋建て、床面積は約300平方メートル。処理能力は年間600立方メートルで、同事務所が1年間に排出する泥の10分の1にあたる。施設建設の総事業費は1億5千万円。

(11月21日付 日経)